

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2002年6月4日

一週間を通し温暖な天候となった。州中央部では乾燥と風の強い気象であった。中央地区のリンカーン郡の土壤水分不足は深刻な状況にある。強風は少ない土壤水分を更に急速に劣化させている。特に出穂を直前にし降雨が強く望まれる。ワラワラ郡に於いても降水を待ち望んでいる。ウィットマン郡では降水と温暖な気温に恵まれ特に東部の冬・春小麦の状況は極めて良好である。同郡の冬小麦は出穂を始めた。ウィットマン郡西部でしかも土壤の浅い地区では、乾燥によるストレスが見られる。ワシントン州の冬小麦の状況は地区により大きな差が出てきている。出穂状況は、全州で28%の状況であるが、これは昨年同期の41%、平年の52%と比較し遅れている。春先の低温が生育を遅らせた大きな原因である。この先の降雨が単収に極めて大きな影響を及ぼす。昨年9月1日からの累計降水量は、プルマン市(ウィットマン郡)で平年の89%、ワラワラ市：78%、リッツビル市(アダムス郡)：92%、そしてエフラタ市(リンカーン郡)では78%と成っている。

2002年6月2日現在

土壤水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	2	21	77	0
Subsoil (%)	0	24	76	0
Irrigation Water (%)	0	0	100	0

小麦作況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat Dry Land (%)	2	11	35	42	10
Winter wheat Irrigated (%)	0	0	1	93	6
Spring wheat Dry Land (%)	0	5	67	24	4
Spring Wheat Irrigated (%)	0	0	1	93	6

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Planting (%)	100	100	100	100
Spring wheat Emerged (%)	99	95	100	99
Spring wheat Headed (%)	16	6	9	7
Winter wheat Headed (%)	28	25	41	52

Source: Washington Agricultural Statistics Service